

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870300880
法人名	有限会社 ひだまりの会
事業所名	グループホームいぶき
所在地	愛媛県宇和島市伊吹町甲1368-3
自己評価作成日	平成22年2月10日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年2月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

共に寄りそって助け合い、明るいホームです。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

- 年1回、自治会活動の「草ひき」に、管理者が参加されている。回覧板を利用者と一緒に回したり、毎月、地域の方がお話相手や読み聞かせ等のボランティアに来てくださっている。又、理髪店の方が利用者の散髪に来てくださったり、時に利用者が気ままに出られたときに連絡をくれるようなこともある。
- 利用者の状態変化や対応について、話し合いながら取り組みをすすめておられる。今後、利用者が体操やボールを使ったレクリエーション等にも取り組み、利用者の身体機能の維持向上に努めていきたいと話しておられた。
- ご本人の以前からの希望もあり、協力医やご家族もホームに泊まり、利用者を看取られた事例がある。お花の好きなご本人のために職員は、お部屋にお花を絶やさないように飾り、気配りをされた。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		取 り 組 み の 成 果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる （参考項目：23,24,25）	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています （参考項目：9,10,19）
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある （参考項目：18,38）	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている （参考項目：2,20）
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている （参考項目：38）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている （参考項目：4）
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている （参考項目：36,37）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている （参考項目：11,12）
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている （参考項目：49）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている （参考項目：30,31）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている （参考項目：28）	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

I.理念に基づく運営

II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

III.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

[記入方法]

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホームいぶき

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏 名 田中 ちとせ

評価完了日

H22年 2月 10日

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
Ⅰ.理念に基づく運営				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) ミーティング等で話す事はある。 地域密着型の理念に作り直したとは思っている。	
			(外部評価) 「お年寄りの思いに寄り添い、生活そのものにつき合う」という法人の理念のもと、事業所では職員とともに「ありがとうと感謝し助け合い、笑い声が絶えない毎日でありますように」とスローガンを作り、利用者に笑顔になってもらえるような支援に取り組んでおられる。	事業所では「地域の方に気軽に行き来できるような事業所」に向けて、さらに取り組んでいきたいと考えておられる。管理者は、今後、事業所独自の理念を職員で話し合い、作成したいと話しておられた。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 日常的とはいえませんが交流している。 隣近所の方たちに挨拶することにより親しみが増してきた。	
			(外部評価) 年1回、自治会活動の「草ひき」に、管理者が参加されている。回覧板を利用者と一緒に回したり、毎月、地域の方がお話し相手や読み聞かせ等のボランティアに来てくださっている。又、理髪店の方が利用者の散髪に来てくださったり、時に利用者が気ままに出られたときに連絡をくれるようなこともある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 今のところ、あまり機会がない。反対にホームが地域の方にお世話になっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価)	
			十分とは言えないが、意見を参考にし行っている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(外部評価)	
			現在は、平日の昼間に会議を開催されている。会議時には、事業所の活動や利用者の状態を報告され、事業所のケアの取り組みについてご意見をうかがうこともある。ご家族に参加の声かけをされているが、現在は1名の参加となっている。地域の代表者に地域行事を教えてもらったり、市内の他グループホームの参加もあり、いも炊きを行う際のアイデア等、それぞれのホームの取り組みを紹介してもらっている。	事業所では、地域の方にも気軽に会議に参加いただきたいと考えておられる。事業所ではご家族や地域の方等、会議に多くの方が出席できるように働きかけておられるが、仕事の事等、それぞれの都合もあり、むつかしい面もあるようだ。今後、事業所にかかわる方等から輪を拡げて、いろいろな立場の方が集まれるような会議の工夫を重ねていかれてほしい。ひいては事業所のサービスの質向上につながるような会議の工夫が期待される。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正しく 理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価)	
			取り組んでいる。	
			(外部評価)	
			市の担当者に、平日の昼間に行われる運営推進会議に出席いただき、市の取り組みを紹介いただいたり、研修の案内をもらっている。毎月、介護相談員の方の訪問があり、利用者の年代に合ったお話をしていただき、利用者も楽しみにされている。市主催のグループホーム連絡会で他グループホームと意見交換等を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待防止の研修に参加し、高齢者の希望を第一に考えるのが大切だが、時には利用者の方の希望と反対になっても、病気・体・命に関わることは、仕方がないこともある。そんな時は、それ以外で利用者の方に笑顔が見られるようにしてあげることが大切と学んだ。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修に参加はしている。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時に説明している。 理解・納得はして頂いている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議時での意見、又面会時、電話等で要望を伺い運営に活かしている。 市介護相談員が月に一度来られるので話を聞いてもらっている。 (外部評価) 管理者は、毎月ご家族に、ご本人の暮らしぶり等をお手紙や電話でお知らせしている。ご家族からの意見や要望は少なめではあるが、ケア等について要望が出た場合は、ご家族や職員と話し合いながら取り組まれている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			十分ではないかもしれないが、ミーティング時その都度出た意見は活かしていると思う。	
			(外部評価)	
			利用者の状態変化や対応について、話し合いながら取り組みをすすめておられる。今後、利用者が体操やボールを使ったレクリエーション等にも取り組み、利用者の身体機能の維持向上に努めていきたいと話しておられた。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			努めてはいるが、十分ではないと思う。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修には出来るだけ参加してもらっている。又、気づきがあればその都度話し合っている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			運営推進会議、他施設、当法人での研修に参加し勉強している。まだまだ十分とはいえないが。	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			出来る限り聞くようにしている。自分を表に出す事が出来ない方の対応が難しいところがあり、その方の表情等を見、十分とは言えないが安心して暮らして行けるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価)	
			開始する段階で、悩み、要望等聞かせて頂いている。 又、面会時に声かけし、より良い関係づくりに努めている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)	
			十分ではないが、努力している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価)	
			一緒に暮らしていく中で、笑ったり、怒ったり又、話の中調理の時等、相手を認め尊敬し、信頼を深めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価)	
			面会時、電話時等にちょっとした時間でも楽しく、絆を深めて頂くように努めている。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価)	
			全員ではないが、時々馴染みの場所にドライブに行ったり、 面会時には、また来て頂けるよう声かけしている。 もっともっと積極的に支援できるよう努めていきたい。	
			(外部評価)	
			ご本人のご自宅の近所の方が訪ねて来てくれたり、知人の方がご自宅で採れた果物を届けてくださることもある。利用者個々の以前住んでおられた所までドライブすることもある。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) みなさんが楽しく過ごせるように努めている。 「手が冷たい」の職員の言葉に、その方の手を取り温めておられる姿を見、利用者・職員共に温かい心になった。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 対象者がいない。	
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 出来るだけ努めている。 (外部評価) 日々のケアの記録には「私のねがいや支援してほしいこと」を記入する欄を設けておられ、今後さらに、利用者の言葉やご家族の言葉、職員の気づきを記入していこうとされていた。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 努めているも、まだまだ把握できていない事がある。 又、話している中で分かってくることもある。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 十分とは言えないが努めている。 毎日、熱・血圧を計っている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			暮らしの中で気付いたこと、ミーティングで話したこと、みんなで話し合い、計画に反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(外部評価)	
			職員は、毎月のミーティング時に利用者個々についての気付きや、ケア記録内の「私のねがいや支援してほしいこと」を記入する欄を踏まえて話し合い、介護計画を作成しておられる。ご本人の状態に変化があるような場合は見直しをされている。利用者やご家族に希望を聞くようにされているが、現在は、意見をいただくことは少ないようである。	事業所では、ご家族も一緒に介護計画について考えてほしいと考えておられる。ご家族からも具体的にご意見をいただけるよう、今後さらに働きかけの工夫をされたり、又、利用者の生活を広げていけるような計画等の工夫も重ねていかれてほしい。
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にもまれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			病院受診には同行している。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			十分ではない。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			協力医に月2回の往診に来てもらっている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			週1回4時間、看護職員に来てもらい、情報や気づきを 共に共有・支援している。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			入院時には情報を提供し、入院中は面会に行っている。 十分ではないが、看護師から情報を得ている。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人（意見が聞ける場合）・家族の意見を聞き、取り 組んでいる。	
			(外部評価)	
			ご本人の以前からの希望もあり、協力医やご家族もホーム に泊まり、利用者を看取られた事例がある。お花の好きな ご本人のために職員は、お部屋にお花を絶やさないように 飾り、気配りをされた。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)		
			最低限、行っている。 全員、救命講習を受けるようにしたい。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)		
				地域の方に協力して頂けるようにしている。 訓練はしている。	
			(外部評価)		
			前もって地域の方にもお知らせして、避難訓練を実施され、当日は、職員が大きな声で助けを呼び、ご自宅におられる近隣の方が駆けつけてくださるような訓練もされた。消防署の方には、シーツを使った避難法を教えていただいた。管理者は、電気のコンセントの部分から火を出さないように掃除をこまめにされている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)		
				知らず知らずに傷つけていることもあるのではないかな。 自分を正し、対応していきたい。	
			(外部評価)		
			職員は、利用者に笑顔でやさしく接しておられるが、調査訪問時、利用者の個人的なことについての会話等、プライバシーに配慮が必要と感じる場面が見られた。	この機会に、職員同士の会話等で、配慮が必要な点はないか点検されてみてはどうだろうか。職員同士で確認し合ったり、ご家族のご意見をうかがってみる機会等も作ってはどうか。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)		
			出来るだけ自己決定が出来るように支援している。		

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)	
			出来るだけ支援しているつもりだが、一人ひとりのペースで職員が動けない時もある。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)	
			十分ではないが、している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)	
			出来ることを一緒にしている。 「あー、美味しかった」という声に職員も「ありがとう」という気持ちになる。	
			(外部評価)	
			利用者は、魚料理がお好きな方が多く、日祭日以外、夕食には利用者のお好きな魚料理にされている。又、時には、にぎりずしを出前してもらったり、生魚の苦手な方には火を通して配慮されている。又、偏った食事をされるような方もあり、まずは職員が利用者の口に運ぶ等から次第に食べられるものが増えてきたような方もあるようだ。食後、下膳されている方やお盆ふきしている方がおられた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)	
			十分ではないが、支援している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)	
			行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			行っているつもりではあるが、なかなかその人のパターンが分からず、トイレでの排泄が出来ない時がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(外部評価)	
			排泄記録を付けて、パターンの把握に努め、時間を見て声かけされている。現在、パット使用頻度が多い利用者のパットの使用が少なくなるようご家族と相談しながら、トイレ誘導のタイミングや方法を模索中であった。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			時間帯は午後からにしている。毎日声かけしているも、本人の希望、その日の健康状態に気をつけ支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(外部評価)	
			毎日入浴される方もおられる。入浴に気がすすまないような方にもタイミングをみながら声かけ等、工夫されている。以前から使用しているシャンプーを使っておられる方もある。	
46			(自己評価)	
			昼間はこたつで横になったり、ソファで共に話したり、日向ぼっこをしたりと、くつろいでもらっている。夜、気持ち良く眠れるよう支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価)	
			努めている。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価)	
			十分に出来ていない時もある。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価)	
			十分に出来ていない。	
			(外部評価)	
			丸山公園にお花見に行かれたり、ドライブを楽しむこともある。気の合う利用者2～3人で外出し、楽しく過ごせるよう支援されている。お散歩をされる方もある。	事業所では「外出する機会が少ない」と感じておられる。外出を希望される利用者もあり、管理者は、利用者個々が行きたい場所や、懐かしい場所等にも出かけてみるような機会を作っていきたいと考えておられた。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)	
			本人が所持できなくなってきた。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)	
			本人自ら電話をかけることはないので、職員が電話を話してもらう。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			毎日の掃除により、清潔を保っている。 暖房・換気には気を付けている。 ホールには、季節に応じた飾り物又、花を生けている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(外部評価)	
			お花が好きな利用者が多く、職員のご自宅に咲いている花を居間のテーブルに飾られることもある。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			十分とは言えないがしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(外部評価)	
			職員が居室にもお花を生けておられる。ほうきを使ってはいたり、拭き掃除をされる利用者もある。日中は、居間で過ごされることが多いようだが、居室には全部屋トイレが付いていて、日中でもご自分のお部屋のトイレを使用されることが多い。	
			(自己評価)	
			十分ではないがしている。	